

スマートホームで 便利で快適な暮らしを!

スマートホームって
便利だね!

外から家電を
操作できるのって
便利ね!



スマートホームは、皆さんのお住まいにおいて設備や身近な家電などがインターネットとつながり、様々なライフスタイル／ニーズにあったサービスが最適なタイミングで提供される未来の暮らしを実現します。インターネットにつながったテレビ・エアコンなどの家電機器や照明・お風呂などの住宅設備機器が様々なサービスと結びつくことで、離れた家族の見守りや家族の体調に合わせた快適な室内環境の提供など、暮らしが「健康、快適、便利」になります。



スマートホームって便利そうだけど…

実は、あぶないんじゃないの?

その答えは裏面で! ➡

ここに注意! スマートホーム

スマートホーム時代の「泥棒」は、サイバー空間の抜け穴を狙っている!

スマートホーム向けの機器やサービスは、今の暮らしをもっと便利に、豊かにするものですが、使い方をよく知らなかったり、機器の取扱いを間違ったりすると、様々なリスクが潜んでいます。

そのような被害のリスクを十分に理解して、正しい使い方をしましょう。



ハッキングされて
留守中に
勝手に開錠されちゃった!



アップデートを
忘れてたら
乗っ取られて家の中を
盗撮された!



ブロードバンドルーターの
設定を間違えて
外部から不正操作された!



故障したスマートホーム機器を
そのまま捨てたら個人情報
が漏れてしまった...



もし困ったとき、
相談できる
相手はいる?

スマートホームを安全に使うためのチェックリスト

スマートホームの安心・安全に向けたサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン「(8)スマートホームの住まい手」に向けたガイドと対策要件の対応関係 より

① 信頼できるIoT機器やサービスを選びましょう

品質や信頼性が確保されたIoT機器やサービスを導入しましょう。

スマートホームに使用する機器やサービスを選ぶ場合には、十分なセキュリティ機能があるかをご確認ください。なお、ご確認の際には、製品パッケージや開発するメーカーやサービス会社のウェブサイトなどの信頼できる情報源をご覧ください。ご自身でのご判断が難しい場合には、機器製造事業者や販売元に確認しましょう。

ソフトウェアアップデートなどにより品質や信頼性が維持されるIoT機器やサービスを導入しましょう。

機器の選定にあたっては、品質以外にも、導入後のソフトウェアアップデートやメーカーサポートデスクへの問い合わせによって、使い手側が常に最新のサイバーセキュリティを維持することのできるものを選ぶようにしましょう。

チェック



② IoT機器やサービスの用途・用法を守って使いましょう

IoT機器のガイドやサービス提供のポリシーを確認し利用や管理を行うようにしましょう。

使用するIoT機器は、メーカーが開示しているガイドやポリシーを参照し、そこに記載されている用途・用法に合った設置や使い方をするようにし、間違った設置や使い方をしないようにしましょう。

住まい手自ら対応が困難な場合は、スマートホーム向けのIoT機器を遠隔から管理する事業者もしくはスマートホーム向けサービスのメンテナンスやサポートを行う事業者にメンテナンスやサポートを依頼しましょう。

導入した機器のトラブル時に、ご自身で対応することが困難であるときは、メーカーやサービス提供事業者から開示されているサポートデスク、メンテナンス窓口積極的に依頼するようにしてください。



③ 個人情報を自分で守りましょう

IoT機器やサービスの利用を終了する場合には、個人情報などが残らないようにきちんと削除などをしましょう。

スマートホームで利用している機器が古くなったり故障して、入れ替えたり捨てる場合には、その機器に保存されているご自身の個人情報などのデータを消すなど、再利用されないための対策をしてから機器を捨てたりサービスを解約してください。なお、第三者に機器を譲る場合も同じです。



スマートホームでお困りのときは、各事業者のサポートデスクや問い合わせ窓口にご相談ください。マンションの管理組合の方は『「スマートホーム関連事業者の方へ」編』も参照してください。

スマートホームの安心・安全に向けた
サイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン
<https://home.jeita.or.jp/smarthome/security/>

